

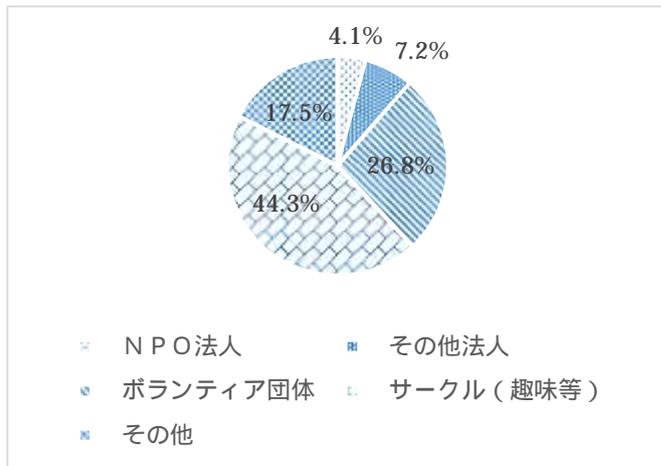
市民活動団体アンケート結果

団体の状況について

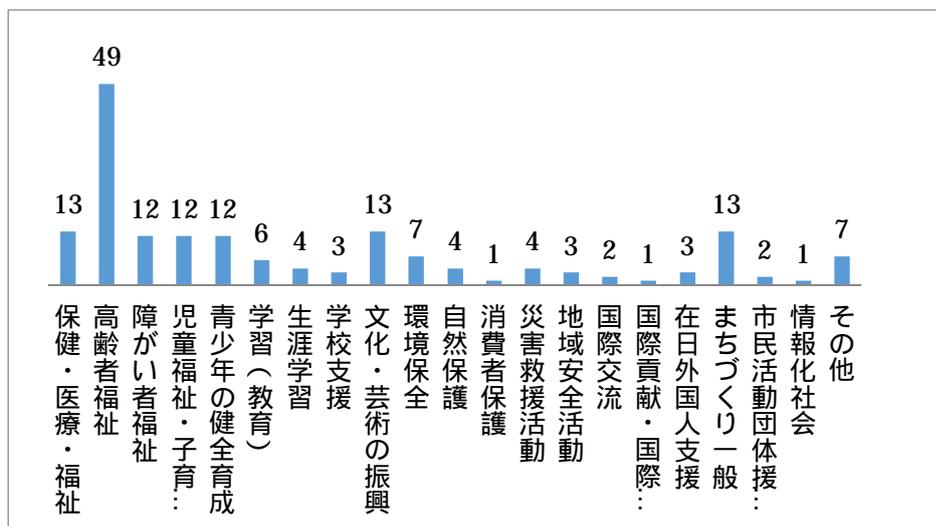
問1 貴団体の種別をお答えください。

(1) 貴団体の種別をお答えください。

NPO法人	4	4.1%
その他法人	7	7.2%
ボランティア団体	26	26.8%
サークル(趣味等)	43	44.3%
その他	17	17.5%
合計	97	100.0%



(参考：小諸市ボランティアセンター分野別登録団体数)



(2) ~ と回答された方にお聞きします、法人格の取得を考えていますか。

はい	5	6.6%
いいえ	71	93.4%
合計	76	100.0%



問2 貴団体の主な活動日・活動時間帯についてお答えください。

主な活動日

不定期	23
平日	41
平日及び土・日・祝日	7
土・日・祝日	11
その他	17
合計	99

主な活動時間

不定期	23
日中	39
夜間	20
日中及び夜間	3
その他	14
合計	99

活動日は平日が多く、活動時間は日中が多い。

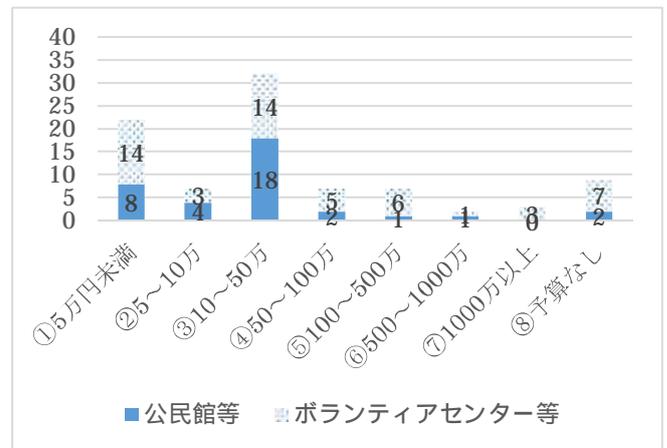
活動日、活動時間共に不定期の団体は全体の1/4程度です。

土日に活動している団体は全体の1/5、夜間に活動している団体は全体の1/4です。

問3 貴団体の財政状況や活動資金について

(1) 年間の予算はどれくらいですか。

	公民館等	ボランティアセンター等	計
5万円未満	8	14	22
5~10万	4	3	7
10~50万	18	14	32
50~100万	2	5	7
100~500万	1	6	7
500~1000万	1	1	2
1000万以上	0	3	3
予算なし	2	7	9
合計			



公民館等 = 公民館登録団体・区の団体、ボランティアセンター等 = ボランティアセンター登録団体・市内NPO法人・市民活動促進事業補助金申請団体・その他団体（以下同様）

(2) 収入の内訳について、おおよその比率を記入してください。

会費・賛助会費

50%超え~100%	45
20%超え~50%以下	13
20%以下	13
合計	71

寄付金・協賛金

50%超え~100%	4
20%超え~50%以下	1
20%以下	9
合計	14

自主事業収入

50%超え～100%	7
20%超え～50%以下	7
20%以下	7
合計	21

財団・企業等民間からの助成金・委託費

50%超え～100%	3
20%超え～50%以下	3
20%以下	2
合計	8

行政からの補助金・委託費

50%超え～100%	1
20%超え～50%以下	10
20%以下	10
合計	21

その他

50%超え～100%	9
20%超え～50%以下	4
20%以下	4
合計	17

融資金を収入としている団体はない。

多くの団体が、収入は会費・賛助会費により賄っている。

自主事業を行うことにより、収入を得ている団体も少なからずある。

(3) 支出の内訳について、おおよその比率を記入してください。

活動に伴う事業費

50%超え～100%	57
20%超え～50%以下	6
20%以下	3
合計	66

事務局スタッフ人件費

50%超え～100%	3
20%超え～50%以下	3
20%以下	8
合計	14

事務局経費（家賃・光熱水費）

50%超え～100%	0
20%超え～50%以下	0
20%以下	21
合計	21

非常勤スタッフ人件費・ボランティア手当等

50%超え～100%	0
20%超え～50%以下	0
20%以下	8
合計	8

その他（具体的に： ）

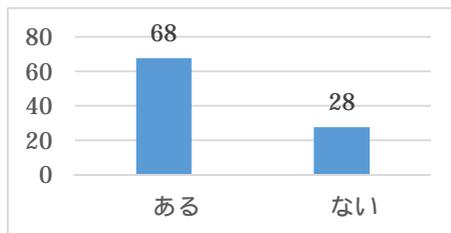
50%超え～100%	7
20%超え～50%以下	4
20%以下	6
合計	17

多くの団体の主な支出は、活動に伴う事業費である。

事務局経費、人件費等の支出がある団体は少ない。

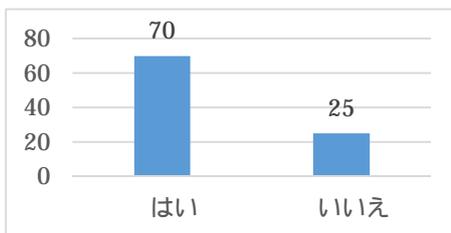
問4 貴団体には、組織の運営に関する規則（定款・規約・会則等）がありますか。

ある	68
ない	28
合計	96



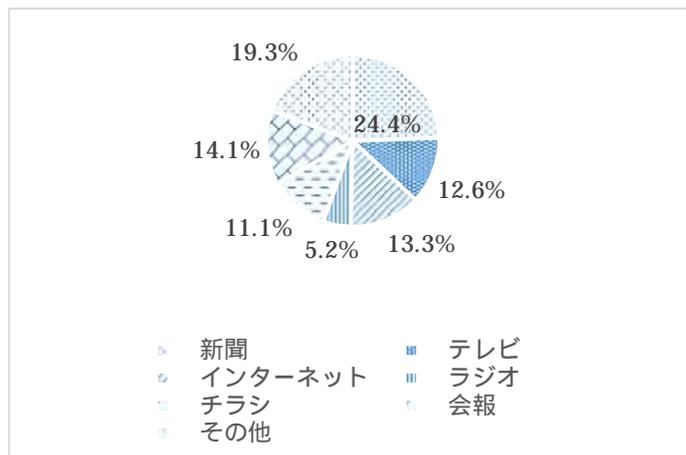
問5 予算書・決算書並びに事業計画書・事業報告書の作成を毎年行っていますか。

はい	70
いいえ	25
合計	95



問6 貴団体で活動情報を発信しているメディア（情報伝達媒体）は何ですか。（複数回答可）

新聞	33	24.4%
テレビ	17	12.6%
インターネット	18	13.3%
ラジオ	7	5.2%
チラシ	15	11.1%
会報	19	14.1%
その他	26	19.3%
	135	100.0%

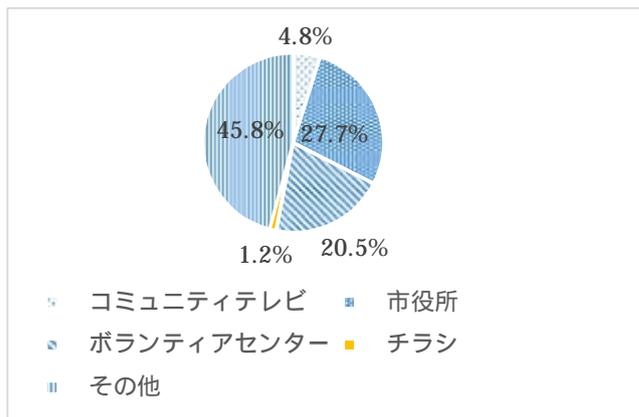


インターネットでの情報発信はHPが多い。
 主な新聞は、小諸新聞、東信ジャーナル、信濃毎日新聞。
 テレビはコミュニティテレビが主。
 ラジオを活用している団体も少ないがある。
 一つの団体が複数の媒体にて情報発信している。

a.HP	10
b.メルマガ	2
c.ブログ	7
d.SNS	2
e.その他	2

問7 貴団体の活動に必要な情報を、主にどこで（何から）入手していますか。

コミュニティテレビ	4	4.8%
市役所	23	27.7%
ボランティアセンター	17	20.5%
チラシ	1	1.2%
その他	38	45.8%
合計	83	100.0%



市役所内訳	
a.H P	4
b.メルマガ	2
c.広報こもろ	15
d.市役所	11
e.その他	3

ボランティアセンター内訳	
a.H P	1
b.情報紙	5
c.センター	10

その他内訳	
a新聞	8
bインターネット	11
cその他	22

団体独自の情報の入手先（上部団体、協会）がある。

市役所では広報こもろ、ボランティアセンターでは情報紙から情報を入手している。

主な新聞は小諸新聞、東信ジャーナル、信濃毎日新聞。

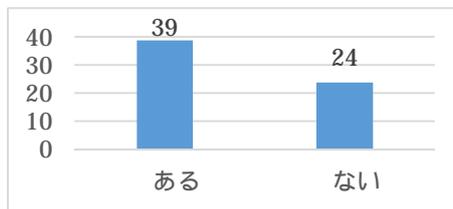
複数の媒体から情報を入手している。

問8 貴団体と他の団体との連携や協働についてお尋ねします。

（1）他の市民活動団体との連携や協働はありますか。

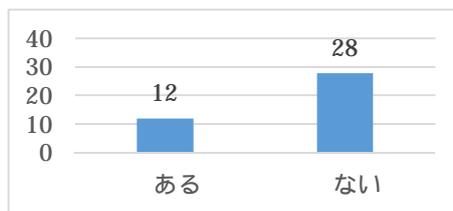
（ボラセン等〔注1〕）

ある	39
ない	24



（公民館等〔注2〕）

ある	12
ない	28



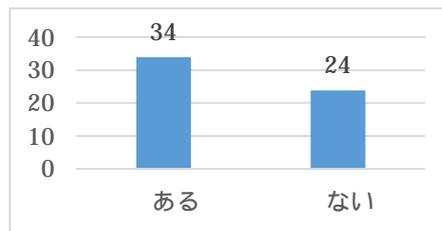
〔注1〕 ボランティアセンター登録団体・市内NPO法人・市民活動促進事業補助金申請団体・その他

〔注2〕 公民館登録団体・区の団体（以下同様）

(2) 行政との協働はありますか。

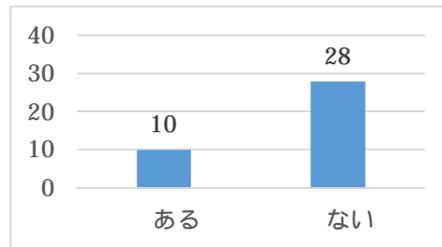
(ボラセン等)

ある	34
ない	24



(公民館等)

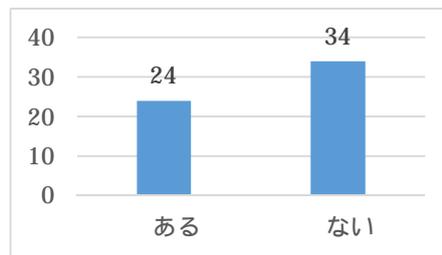
ある	10
ない	28



(3) 地域自治組織(区)等の地縁型団体との協働はありますか。

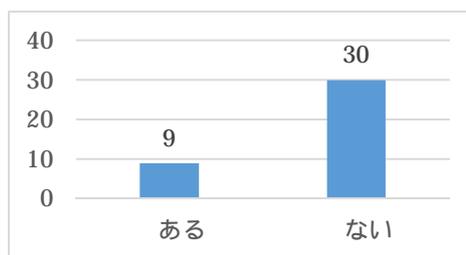
(ボラセン等)

ある	24
ない	34



(公民館等)

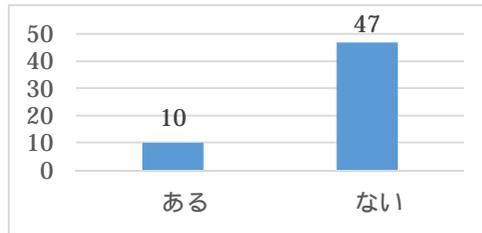
ある	9
ない	30



(4) 企業・財団との協働はありますか。

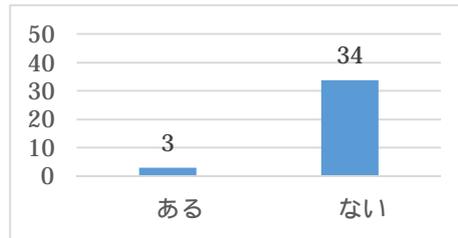
(ボラセン等)

ある	10
ない	47



(公民館等)

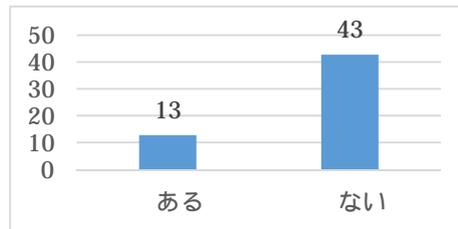
ある	3
ない	34



(5) 学生等若者との協働はありますか。

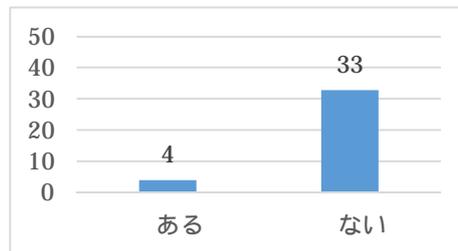
(ボラセン等)

ある	13
ない	43



(公民館等)

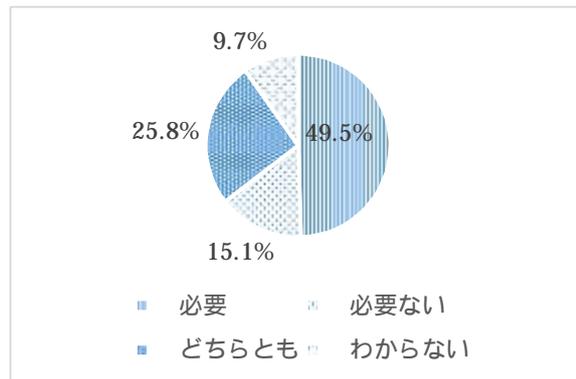
ある	4
ない	33



問9 団体間のネットワークについて

(1) 今後、他の団体とのネットワークが必要だと思いますか。

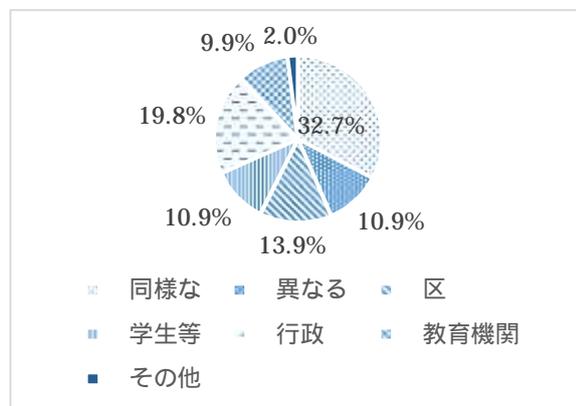
必要	46	49.5%
必要ない	14	15.1%
どちらとも	24	25.8%
わからない	9	9.7%
	93	100.0%



(2) 前の質問で「必要である」と回答された方にお聞きします。

どのような団体とネットワークを持つことが重要だと思いますか。(複数回答可)

同様な	33	32.7%
異なる	11	10.9%
区	14	13.9%
学生等	11	10.9%
行政	20	19.8%
教育機関	10	9.9%
その他	2	2.0%
	101	100.0%



《具体的な意見》

【地域組織等】

* 観光協会、各地区まちづくり推進協議会等

【関連組織等】

* 各団体の関連組織

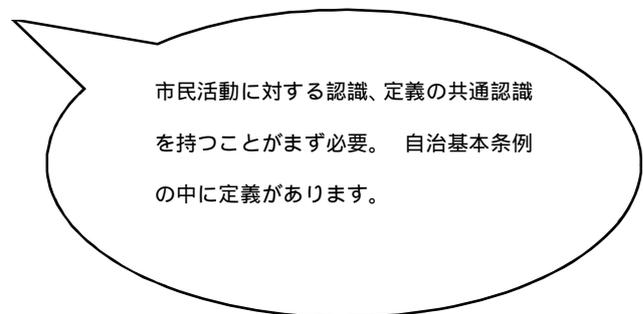
* 公共施設との連携

* 庁-ワーク、企業、警察、青少年補導委員会

* 団体全て。

【その他】

* 会員の人数が減少している。一緒に活動できるものがあれば大きな力になるので、若い方の力も必要。

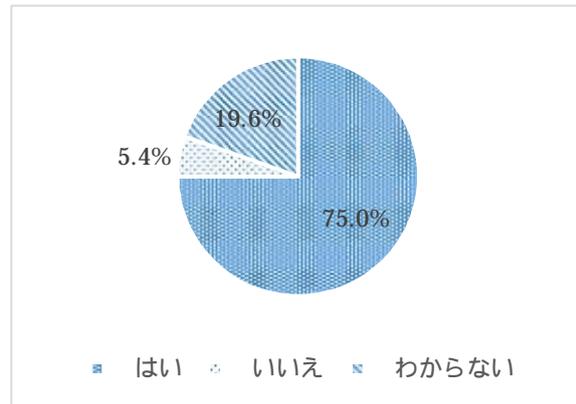


は市民活動拠点部会で出た意見です。

市民活動団体と行政との協働について

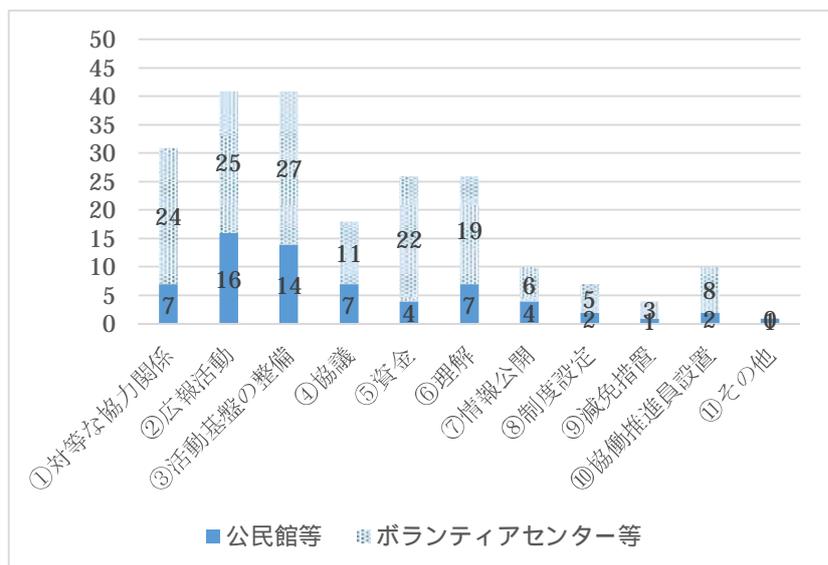
問 10 市民主体のまちづくりを実践していくためには、市民活動団体と行政とが協働していくことが必要だと思いますか？

はい	69	75.0%
いいえ	5	5.4%
わからない	18	19.6%
	92	100.0%



問 11 問 10 で「はい」と回答された方にお聞きします。今後、協働をより良く進めるために行政に対してどのようなことを求めますか。（複数回答可）

	公民館等	ボランティアセンター等	
対等な協力関係	7	24	31
広報活動	16	25	41
活動基盤の整備	14	27	41
協議	7	11	18
資金	4	22	26
理解	7	19	26
情報公開	4	6	10
制度設定	2	5	7
減免措置	1	3	4
協働推進員設置	2	8	10
その他	1	0	1



《具体的な意見》

【コ・ド・イネット機能】

- * 地域包括支援センター、社会福祉協議会等 市担当職員との連携が必要
- * ボランティアセンターのコ・ド・イネット機能の強化
- * 団体発展への支援（市民参加の拡大）
- * 行政側からの参加要請

活動する場、発表する場、場を提供することで、市民活動が広がっていくのでは。

【場の提供】

- * 場所の提供を快くお願いしたい。
- * 公共施設など減免を考えていただき、活動しやすく話しあう場所があることが必要。

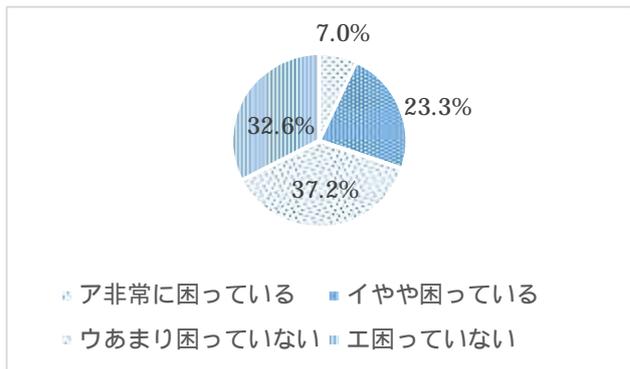
拠点のあり方を考える上で、対等な協力関係、広報、活動基盤の整備の3つが重要な視点になる。

活動を進める上で抱えている課題、問題点について

問 12 次のそれぞれの項目について、ア 非常に困っている イ やや困っている ウ あまり困っていない エ 困っていない、のうちから該当する番号を記入してください。

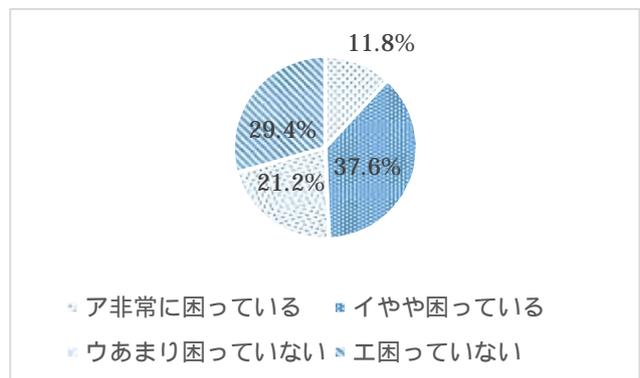
組織の運営

ア非常に困っている	6	7.0%
イやや困っている	20	23.3%
ウあまり困っていない	32	37.2%
エ困っていない	28	32.6%
	86	100.0%



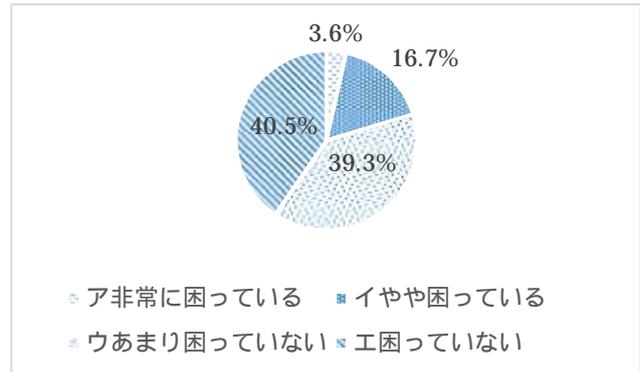
活動資金の確保

ア非常に困っている	10	11.8%
イやや困っている	32	37.6%
ウあまり困っていない	18	21.2%
エ困っていない	25	29.4%
	85	100.0%



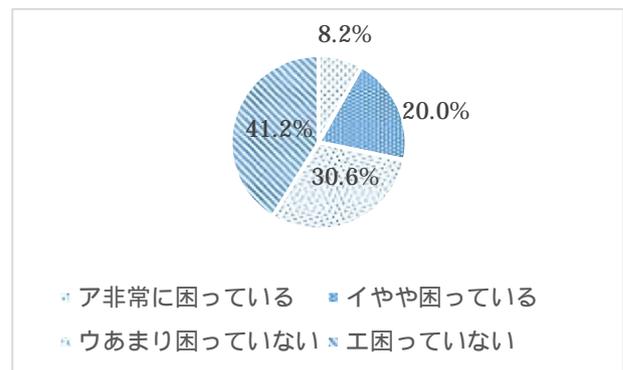
企画立案

ア非常に困っている	3	3.6%
イヤ困っている	14	16.7%
ウあまり困っていない	33	39.3%
エ困っていない	34	40.5%
	84	100.0%



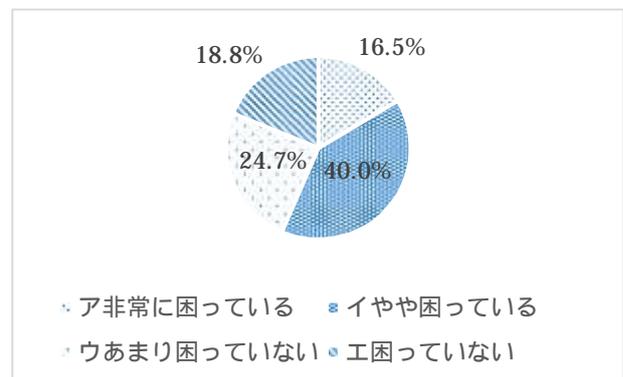
活動の場の確保

ア非常に困っている	7	8.2%
イヤ困っている	17	20.0%
ウあまり困っていない	26	30.6%
エ困っていない	35	41.2%
	85	100.0%



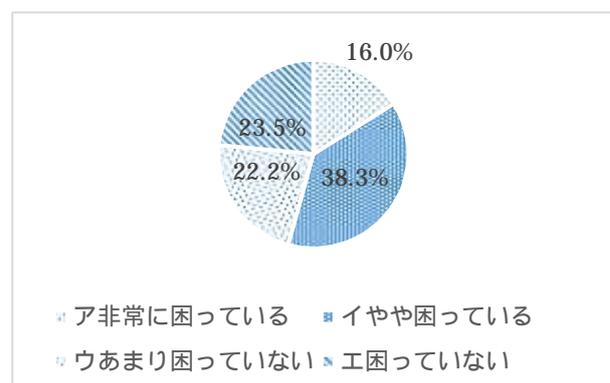
会員・メンバーの確保と活動の継続

ア非常に困っている	14	16.5%
イヤ困っている	34	40.0%
ウあまり困っていない	21	24.7%
エ困っていない	16	18.8%
	85	100.0%



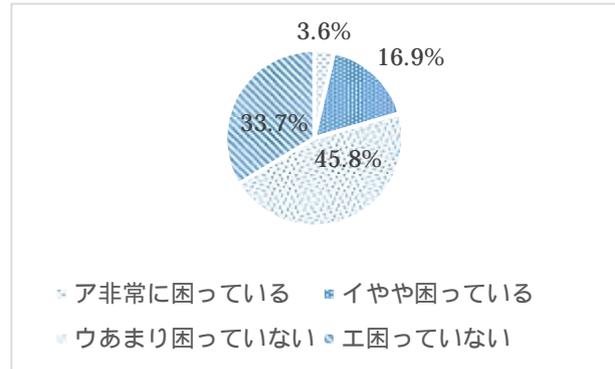
人材育成

ア非常に困っている	13	16.0%
イヤ困っている	31	38.3%
ウあまり困っていない	18	22.2%
エ困っていない	19	23.5%
	81	100.0%



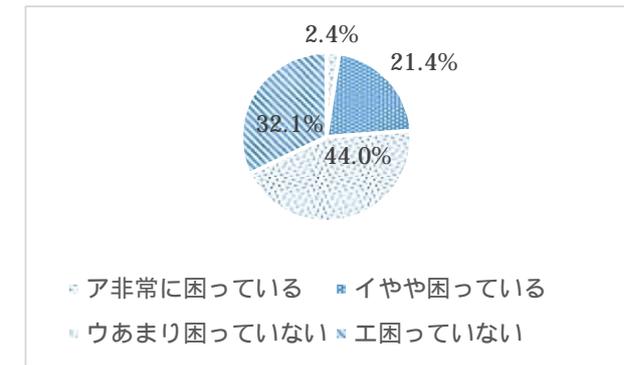
情報の入手や発信

ア非常に困っている	3	3.6%
イヤ困っている	14	16.9%
ウあまり困っていない	38	45.8%
エ困っていない	28	33.7%
	83	100.0%



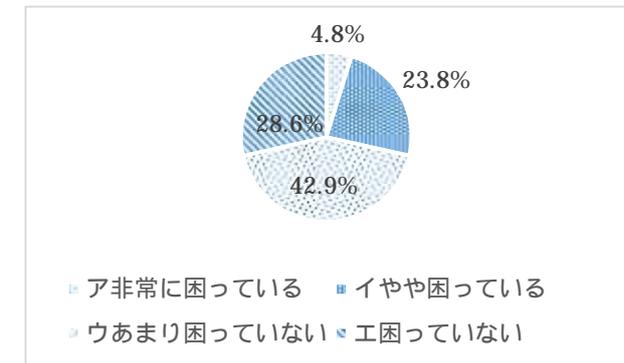
他団体との交流、ネットワークの構築

ア非常に困っている	2	2.4%
イヤ困っている	18	21.4%
ウあまり困っていない	37	44.0%
エ困っていない	27	32.1%
	84	100.0%



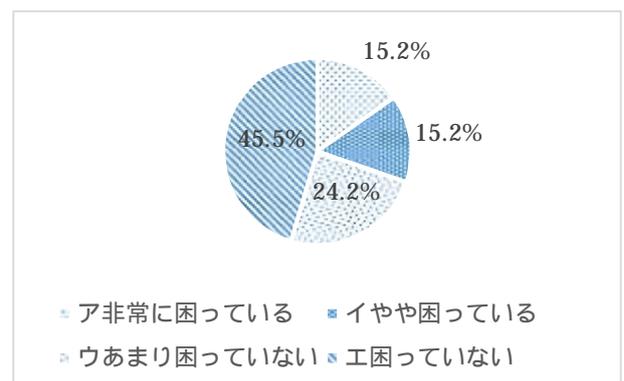
行政機関とのネットワーク構築

ア非常に困っている	4	4.8%
イヤ困っている	20	23.8%
ウあまり困っていない	36	42.9%
エ困っていない	24	28.6%
	84	100.0%



その他

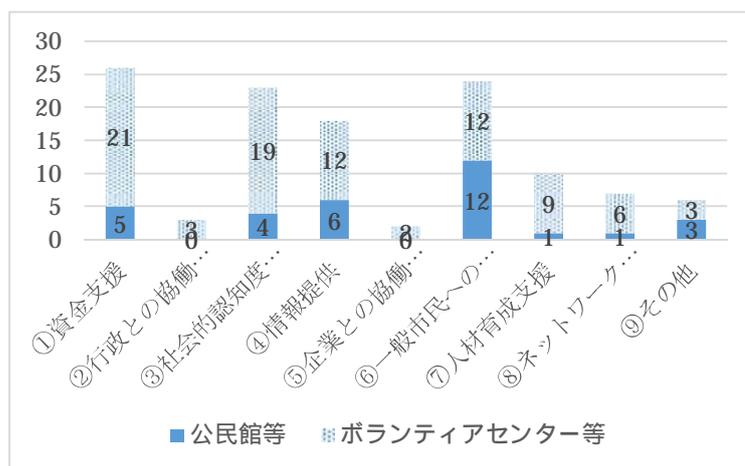
ア非常に困っている	5	15.2%
イヤ困っている	5	15.2%
ウあまり困っていない	8	24.2%
エ困っていない	15	45.5%
	33	100.0%



問 13 問 12 の問題を解決するために、行政に対して望むことはどんなことですか。

(複数回答可)

	公民館等	ボランティアセンター等	計
資金支援	5	21	26
行政との協働機会拡充支援	0	3	3
社会的認知度向上支援	4	19	23
情報提供	6	12	18
企業との協働機会拡充支援	0	2	2
一般市民への参加の働きかけ	12	12	24
人材育成支援	1	9	10
ネットワーク化への働きかけ	1	6	7
その他	3	3	6



《具体的な意見》

【活動支援】

* 公民館育成サークルの活動支援

【場所】

* 展示会を開催する際に公共施設を

優先的に貸出してほしい。

* 会議室を多目的使用に。

* 活動できる場所を複数作ってほしい

(ピアノを備えた場所)

* 合唱で参加できる場所、機会の提供

* イベント開催

ボランティア、市民活動、趣味、様々な団体の活動する場をどのように共有していくか。それぞれの施設がどう使えるかを集中的に集めて効率的に振り分けるシステムを作るとよいのでは？

区の公民館等の施設も区の所有ではあるが、市からの補助もあるので、区だけのものでないと位置づけさせてもらい、市民のものとして使えるようにしては？(現時点でも予約して使用している区もあり)

【情報発信】

- * 市内団体の活動内容等 広報こもろにコーナーを設け紹介する。

拠活動拠点でそれ（予約）を一括管理できたらいい

【資金】

- * 助成金を増やしてほしい。
- * 活動が広範囲であるため交通費の支出が大きい。交通費の補助を希望。

小諸市が市民を対象に募集している市民活動促進事業補助金の制度は市民活動を広げて行くための資金的な援助となっており、補助金をきっかけに、最終的には団体が自立して活動していただくことを目的としている。公開審査会は、市民活動推進セミナーも兼ねているが、参加者が申請団体に限られているので、広く市民に興味をもってもらえるよう、PRが必要。

【その他】

- * 発達障害への理解者を増やして欲しい。
- * 市民の中には寅さんを嫌いな人もいますが、全国でも珍しいこの宝物をぜひ小諸の「売り」にしたい。
- * スピーディーな方針の決定。
- * 市民にやる気を持続させるためにも、地域には私どものように目立たず、それでも豊かに活動している団体は多い。行政はアンテナ高く、そうしたところにも目をむけて欲しい。
- * 活動拠点のより充実を（バリアフリーで誰もが入りやすい、市民との協働、市民主体の高い運営委員会による運営を。
- * 市民の自主活動は、行政に支援等を望むべきではない。
- * 会員の高齢化が進んだため、行政にあまり負担をかけたくない。

現在ボランティアをやっている方も自分達が社会的に認知されているかを問いかけながらやっているのでは？一般市民にできれば知ってもらいたい、もっと有効に活用してもらいたいというメッセージが込められていると思うので、ここを重要に考える必要がある。そういったことを視点として考えていけば、目指すべき拠点の像がみえてくるのではないかな。

ボランティア という言葉に対する固定的なイメージをどう変えていくか・・・。

若い世代にどうよびかけていくか。知らないで済ませるのではなく、必要ならボランティアセンターや社協、行政機関や公民館、図書館などに聞きにいき、市民も勉強して積極性をだしてもらいたい。